理学療法群馬　投稿・執筆規定

1. 本誌の名称と出版形態

本誌の名称は「理学療法群馬」、略誌名は「理療群馬」とする。オンライン版のみの形態で出版する。オンライン版は、メディカルオンライン（https://www.medicalonline.jp/）にて公開される。

2. 本誌の目的

① 理学療法またはそれに関する分野の研究報告の発信
② 理学療法及び関連分野における最近の傾向や成果の掲載
③ 群馬県理学療法士協会員の卒後継続教育の奨励（教育的な論文の掲載）
④ 群馬県理学療法士協会で処理された色々な事柄の掲載
⑤ 群馬県理学療法士協会の発展にかかわる記録

3. 投稿記事の種類

① 学会賞受賞論文：群馬県理学療法士学会にて最優秀賞および優秀賞を受賞した演題に基づく論文のみを受け付ける。執筆は「研究論文」に準じること。ただし、編集委員会で掲載の可否を判断するため、受賞が掲載決定を意味するものではない。
② GPTA 研究助成金 成果報告論文：原則、助成金交付から翌々年度末までに投稿された論文のみを受け付ける。執筆は「研究論文」に準じること。ただし、編集委員会の判断の結果、研究論文に相当しないと思われる場合は、研究報告書として掲載する。
③ 研究論文：新規性および独創性があり、明確な結論を示した論文。または編集委員会で研究論文としての掲載が適切と判断された論文。
④ 報告：研究論文としての条件に当てはまらない研究報告やこれに準ずる論文。
⑤ 症例研究：症例の臨床的問題や治療結果について科学的に研究を行い、考察を行った論文。または、症例の治療および経過などについて論理的に提示し、考察を行ったもの。
⑥ その他（総説、短報、紹介など）：研究論文、報告、症例研究の条件に当てはまらない論文で、編集委員会において総説、短報、紹介などの論文として掲載が適切と判断されたもの。なお、短報とは研究の速報や略報として簡潔に記載された短い研究論文。

4. 投稿者の資格

本誌への投稿は原則として群馬県理学療法士協会の会員個人または群馬県理学療法士協会の会員が主要な構成員となっているグループに限る。ただし、群馬県理学療法士協会に寄与する論文であれば会員外の投稿も受理する。

5. 具備すべき条件

① 他誌に発表、または投稿中の原稿でないこと。
② 投稿原稿は、原則としてワープロソフト（Word）を使用する。必ず投稿フォーマット（40×36 行）を群馬県理学療法士協会のホームページよりダウンロードして用いる。フォーマットに記載してある規定に従うこと。
③ 規定枚数を超過しないこと。研究論文、報告、症例研究の場合、要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり 6 頁（400 字詰め原稿用紙 30 枚）。その他は刷り上がり 2 頁（400 字詰め原稿用紙 12 枚）。図表は 1 個を 400 字詰め原稿用紙 1 枚として換算すること。
④ 原稿の 1 ページ目には投稿記事の種類、題名、所属、所属先住所（郵便番号を含む）、著者氏名を記載する。研究論文については題名、所属、所属先住所（郵便番号を含む）、著者名の英文表記を併記すること。英文表記（題名および著者の所属・住所）は、原則としてネイティブ・サイエンティストの校閲を著者自身の責任で受けることとし、その証明書を論文に添付することが望ましい。研究論文以外の原稿については英文表記を併記しないこと。2 ページ目に要旨（400 字程度）、キーワード（3 個以内）を記載する。なお、要旨は構造化抄録とし、目的、方法、結果、結論に分けて記載する。
⑤ 原稿の 3 ページ目より本文とする。研究論文、報告および症例研究の本文は、原則として目的、対象、方法、結果、考察、引用文献などの項目を設けて構成する。
⑥ ヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意した上で、説明と同意などの倫理的配慮の記述を

必ず行うこと。

⑦ 利益相反について必ず開示すること。利益相反とは、外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を指す。詳細は日本理学療法士学会の定める利益相反(Conflict of Interest：COI)の開示に関する基準（http://jspt.japanpt.or.jp/shinsa/coi/）に準拠する。

⑧ 単位は原則として国際単位系（SI 単位）を用いる。長さ：m、質量：kg、時間：ｓ、温度：℃、周波数：Hz 等。

⑨ 略語はカッコ内にフルスペルで記載する。

⑩ 引用文献は必要最小限にとどめ、本文の引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、巻、号、頁（最初－最終）、西暦年号の順に書き、単行本の場合は著者氏名、書名、発行者名、発行所名、発行地、年次、頁を記載する。文献の省略は公の省略法（Index Medicus など）に従う。引用文献の著者氏名が 3 名以上の場合は最初の 2 名を書き、他は ・他、または *et al.* とし、抄録を引用する場合は最初の著者氏名のみとする。

［例］1）小室　透、間瀬教史・他：片麻痺の運動時皮膚温変化．理学療法学 18(1)：5-11、1991.

2）Hulme JB，Bach BW，*et al*．：Communication between physicians and physical therapists. Phys Ther 68(1)：26-31，1988.

3）千野直一：臨床筋電図・電気診療学入門．医学書院、東京、1977、pp 102-104.

4）Desmedt JE，Godaux E：Progress in Clinical Neurophysiology．(ed. by Desmedt JE)，Vol．8，Karger，Basel，1980，pp215-242.

5）野島元雄：進行性筋ジストロフィー症、各種神経筋疾患.「リハビリテーション医学全書 20」上田敏（編）、医歯薬出版、東京、1975、pp160-269.

6）厚生労働省ホームページ　地域包括ケアシステム．https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/（2020 年 7 月 13 日引用）

⑪ 全ての引用文献を実際に手元（またはオンライン）で開き、原典を確認すること。

⑫ 図表は本文の後に続けて、1 ページあたり 1 つずつ作成すること。表、図・写真は、そのまま製版できるような鮮明なものを添付すること。また、生成 AI を使用して図やイラストを作成した場合は、使用した生成 AI の情報と作成日を明記すること。

⑬ 必要がない限り表に縦線は使用しないこと。

⑭ 投稿は全てオンライン投稿サイトにて受け付ける。群馬県理学療法士協会　学術局　学術誌部のホームページより、投稿フォーマットをダウンロードし、本文と図表が記載された Word ファイルの原稿を下記の原稿投稿先へ送付すること。同様に、チェックリストをダウンロードし、全てチェックを入れた Word ファイルも必ず添付すること。

⑮ 査読の結果、修正をする場合は回答書を修正した原稿とともに原稿投稿先へ送付すること。回答書は群馬県理学療法士協会　学術局　学術誌部のホームページからダウンロードしたものを使用すること。

6. 原稿の採択

原稿の採否と記事の種別、掲載巻号は査読者の意見を参考に編集委員会において決定する。査読の結果、原稿の修正を求めることがある。修正を求められた場合は、示された期間内に修正稿を再提出すること。また、編集委員会の責任において字句の訂正をすることがある。

7. 校正

著者校正は原則として 1 回とする。

8. 著作権について

本誌に掲載された論文の著作権は、群馬県理学療法士協会に帰属する。

9. 原稿投稿先

群馬県理学療法士協会　学術局　学術誌部ホームページのオンライン投稿サイトにあるフォーマットを用いて投稿する。

オンライン投稿サイト
https://ws.formzu.net/dist/S60519561/

10. 問い合わせ先

群馬県理学療法士協会　学術局　学術誌部　村山明彦
E-mail　gakujutusi-butyou@jimu-gpta.com
＊お問合せなどは、E-mail にてお願いいたします。

2021 年 7 月 6 日一部改訂
2021 年 10 月 1 日一部改訂
2022 年 10 月 1 日一部改訂
2023 年 10 月 1 日一部改訂
2024 年 2 月 1 日一部改訂
2026 年 10 月 1 日から施行